




概要

■ 全体スケジュール

開催日	主な検討内容
第1回～第4回(R7)	・組織づくり、ビジョンづくりに関する検討
第5回(4/28)	・新潟駅・万代地区周辺エリアプラットフォームの事例紹介 ・大規模跡地を対象とした社会実験へのアイデア出し
第6回(6/24)	・規約、エリアビジョンの検討 ・大規模跡地を対象とした社会実験の実施内容検討
第7回(8月中)	・規約、エリアビジョンの確認 ・設立総会に向けた準備

■ 第6回準備会の実施概要

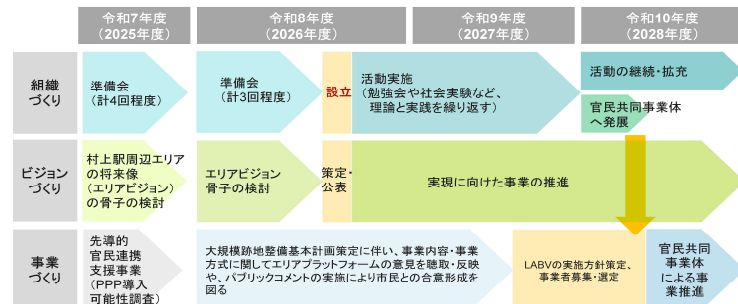
日時	6月24日(水)13:30～15:30
場所	村上市教育情報センター2階 多目的研修ルーム 
参加人数	13名(市内事業者8名、オブザーバー1名、村上市4名)
主な内容	1. 前回の振り返り、今後のスケジュール 2. 規約の確認、エリアビジョンの検討 3. 大規模跡地を対象とした社会実験の検討

協議・検討結果

■ 前回の振り返り、今後のスケジュール

- ・第5回設立準備会の開催概要を振り返ったほか、今後の取組み内容・スケジュールについて事務局から改めて説明を行いました。
- ・特に大規模跡地(交流ゾーン)の整備に関しては、今後市が策定する「村上駅周辺大規模跡地整備基本計画」の検討状況を随時エリアプラットフォームと共有し、意見聴取・反映を図っていくことについて説明を行い、事業者と共有を図りました。

≪今後のロードマップ≫



※上記はLABVによる事業化を想定したスケジュールであり、今後の検討状況に応じて柔軟に対応していくこととしています。

■ 規約の確認・エリアビジョンの検討

- ・10月のエリアプラットフォーム設立、エリアビジョンの策定に向けて改めて規約の確認・エリアビジョンの検討を行いました。
- ・エリアビジョンに関しては、これまで検討したイラスト・合言葉に加え、その背景となる「村上駅周辺の4つの将来像」を整理しました。

村上駅周辺エリアの4つの将来像(案)

- 食や文化を軸にした「村上らしさを感じる場所」**  
地域の事業者と連携して村上の「食」や「歴史・文化」の魅力を発信し、「村上らしさ」を体感できる玄関口を創出します。
- 世代を超えて人々が混ざり合う「にぎわいと安心感」**  
子どもからお年寄りまで、様々な年代の人々が自然に混ざり合うやわらかな空間にすることで、「にぎわい」と「安心」をもたらします。
- 目的がなくても立ち寄れる「気軽さと居心地の良さ」**  
誰もが目的がなくても気軽に立ち寄れる余白を持ち、日常的に人々が交流するような「サードプレイス」として居心地の良い空間を目指します。
- 市内の各地域をつなぐ「ハブとしての役割」**  
村上駅前が単なる「場所」ではなく「ハブ」として、各地域や人々の交流をつなぐ中心地の役割を持つことで、市域全体への「にぎわい」と「地域活性化」をもたらします。

■ 大規模跡地を対象とした社会実験の検討

- ・第5回設立準備会でいただいた意見・アイデアをもとに、社会実験の実施内容を事務局から提案し、意見交換・検討を行いました。

案①【高校生の憩いの場】	
目的	周辺の高校に通う高校生をターゲットに、学校帰りや電車待ち時間の憩いの場として活用してもらうことで若者のニーズを把握する
内容	ジャスコ跡地の一角をオープンスペースとして区切り、テーブル・イス等を設置して日常的に滞在できる空間を整備
+α	高校生が集まる時間帯に合わせてキッチンカーの誘致、自動販売機の設置
案②【冬の子ども遊び場】	
目的	ジャスコ跡地の広場整備後を想定した冬期間の雪の有効活用方法を検証や、子ども遊び場としての子育て世帯のニーズを把握する
内容	除雪した雪をジャスコ跡地に集め、大きな雪山や滑り台などを作ることで跡地一体を子ども遊び場として日常的に開放
+α	休日のイベント開催、キッチンカーの誘致

参加者からの意見・アイデア

- ・事前に高校生から実施内容のアイデアを募るのはどうか
  - ・これまでのワークショップで出た市民・学生の意見をもとにした社会実験が望ましい
  - ・実験結果を数値化して今後活かせるような仕組みにする必要がある
  - ・社会実験は1つに限らず、色々やってみて試行錯誤しながら進めていく方が良い
- 【その他実験のアイデア】⇒市場の開催、観光客レンタカー利用の検証

引き続き、次回以降も実施に向けた検討を継続